

教科書を見て()にあてはまることばを入れてみましょう。

教科書 P38～43 絵巻物の世界

絵巻物は、()から()に展開する物語を場面ごとに広げて鑑賞し、次の場面を見るときには、右に巻き取っていきます。次の場面を開くまで先の話はわかりません。

◆いろいろな絵巻物に使われている表現技法。

- 線による表現 「石山寺縁起絵巻」では、なぎなたが()する動きを線で表している。
「信貴山縁起絵巻」では、後ろに伸びる直線や渦巻く雲で()を表現している。
「鳥獣人物戯画」では、口から伸びた線で()を表現している。
- 異時同図法 「伴大納言絵巻」では、三つの場面が()に描かれる表し方をしている。
- すやり霞 すやり霞と呼ばれるかすみのような模様を描くことで画面を区切り、()や場面の()を表現している。
- 吹き抜け屋台 ()を描かない吹き抜け屋台の方法を用いて()を表現している。

◆教科書の作品

- 伴大納言絵巻 上巻 12世紀 紙本着色 31.5×839.5 cm
上・中・下の三巻からなり、物語は()時代の京都で起こった実際の出来事を題材に描かれている。
- 鳥獣人物戯画 甲巻 12世紀 紙本墨画 30.4×1148.4 cm
鳥獣人物戯画は詞書(ことばがき)のない絵巻物であり、動物を人に見立てる()化の方法で当時の人々の生活ぶりを、ユーモラスに描いている。

☆次の場面は教科書の何ページに描かれているでしょうか。

- A 追いかけてこの場面 逃げるサルを追いかけるウサギとカエル
- B 見物する動物たちの場面 追いかけてこの続きで、ひっくり返っているカエルとそれを取り巻く動物たちがいる。えぼし(烏帽子)をかぶったネコとそれをこわがるネズミがいる。
- C 水遊びの場面 サルやウサギたちの水遊びの場面 鼻をつまんで後ろ向きに飛び込むウサギ、サルの背中のうしろでひしゃくを持つウサギ、鹿に乗るウサギに水をかけるサル
- D 相撲の場面 ウサギとカエルが相撲をとっている 勝ったカエルは何かを言っている

絵巻物を鑑賞した感想を書こう。

時間があればチャレンジしてみよう。

身のまわりの物や風景を描こう

身のまわりの文具や植物などを見て描いたり、風景の写真などがあればスケッチしてみよう。